

2021年度ガラス表面・分析研究討論会 ーガラス表面における深さ方向の分析技術ー

ガラスの表面近傍における深さ方向の品質の変動は、製品特性や機能発現に大きく影響します。その性状把握のためには深さ方向の分析・評価手法の活用が重要となります。今回は、本分野にて第一線でご活躍中の講師の方々に講演して頂きます。昨年につきWeb形式での討論会となりますが、多くの方々にご参加頂きたくご案内致します。

主 催：日本セラミックス協会ガラス部会表面・分析分科会

日 時：2022年2月18日（金） 13:00-16:30

開催方法：Teamsを用いたWeb開催

プログラム：

1. 13:00-13:50 「物理分析によるガラス・セラミックス材料の深さ方向分析」
ユーロフィンイーエージー株式会社 大淵 真澄
2. 13:50-14:40 「湿式分析技術とLA-ICP-MSを活用したガラスの深さ方向分析」
AGC株式会社 菅野 直樹
3. 14:50-15:40 「イオンビーム分析技術と分析事例の紹介」
株式会社東レリサーチセンター 大田 哲郎
4. 15:40-16:30 「化学強化ガラスにおける応力分布の局所評価技術の開発
ー顕微ラマン分光の利用と定式化ー」
東北大学大学院 寺門 信明

参加費：会員：一般4,000円、学生1,000円、非会員：一般6,000円、学生2,000円

※指定の銀行口座への入金を確認され次第、参加登録完了となります。

申込方法：①氏名、②所属（勤務先・学校名、住所、TEL、E-mailアドレス）、③会員・非会員を記載の上、下記E-mailアドレスまでお申込み下さい。

問 合 先：〒664-8520 兵庫県伊丹鴻池2丁目13番12号

日本板硝子株式会社株式会社 研究開発部 湊 淳一

E-mail: junichi.minato@nsg.com